



西牧町長に開催通知を手渡す南専務理事
(左から3人目)

石川町長に協力要請

自転車の国内実業団ロードレースの最高峰、経済産業大臣旗全日本実業団対抗サイクルロードレース大会が9月3日、石川町と浅川町の特設コースで開催されることになった。
26日、全日本実業団自転車競技連盟の南昌宏専務理事らが石川町役場を訪れ、西牧立博町長に開催概要を伝えるとともに、協力を要請した。
同大会には、世界の舞台などで活躍する国内トップ選手が集結する。実業団か

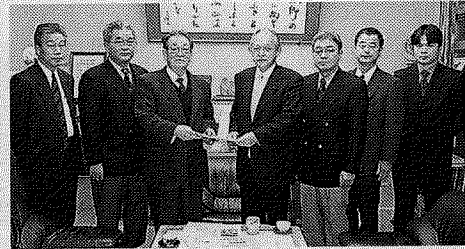
ら約20チーム、約1500人前後が出場予定。石川、浅川両町の周回コース約185キロで行われる。
石川町では毎年、同連盟主催の「全日本実業団サイクルロードレースin石川」が開かれており、アツブタウンの激しさをはじめ、コース環境が整っていることなどから、経済産業大臣旗大会の開催地に決まった。「in石川」は今年も7月16日に開く。
町役場を訪れた南専務理事は、西牧町長に開催概要

を説明した後、開催通知を手渡した。同連盟から大島研一競技委員長、小黒一弘事務局長が同行、県自転車競技連盟から鎌田弘史理事長らが同席した。
また、9月1、2の両日、全日本実業団自転車競技選手権大会(全日本トラック)が泉崎村で開催されることから、南専務理事らは同日、同村役場も訪れた。

全日本実業団サイクルロードレース

9月に石川―浅川で開催

9月に全日本実業団自転車 3日 ロード 石川、浅川 1、2日 泉崎 関係者ら 地元訪問



西牧町長に大会要項を手渡す南専務理事(左から3人目)ら

全日本実業団自転車競技連盟の第40回経済産業大臣旗全日本実業団対抗サイクルロードレース大会が9月3日、石川、浅川両町の周回コースで開催される。同連盟の南昌宏専務理事らが26日、開催あいさつのため石川町役場を訪れ、西牧立

博町長と懇談した。
本県開催は平成8年の泉崎村会場に続き2度目。大会は実業団サイクルロードレースでトップクラスに位置づけられており、最もレベルが高いBR1の選手3人の着順ポイントによるチーム戦。東日本、西日本の大会などの予選を勝ち抜いた約20チームが出場する予定だ。大会ではBR2、BR3、女子の競技も併せて行う。
会場は毎年、全日本実業団サイクルロードレース大会を開いている一周13・7キロの周回コースで、大会では約185キロで順位を競

う。毎年開いている全日本実業団サイクルロードレース大会は国内11大会の第5戦として7月16日に同じコースを使用して開催する。
同連盟の大島研一競技委員長、小黒一弘事務局長、県自転車競技連盟の鎌田弘理事長らが一緒に訪れた。
◇
全日本実業団自転車競技連盟の第36回全日本実業団自転車競技選手権大会は9月1、2の両日、泉崎村の泉崎国際サイクルスタジアムで開かれる。南専務理事らは26日、開催あいさつのため泉崎村役場も訪問した。